

## 『登園届』が必要な感染症

※これらの感染症は、欠席扱いとなります。

※連続して欠席する場合は、れんらくアプリで“連続欠席”の登録をしてください。

※登園届は、医師の判断を仰ぎ保護者が記入し登園する際に提出してください。

病名	潜伏期間	感染しやすい時期	主な症状	登園の目安
溶連菌	2～4日	適切な治療を開始する前と開始後1～2日間	発熱、咽頭熱、発疹、扁桃腺炎、いちご舌	有効治療を始めてから24時間以上経っていること
マイコプラズマ肺炎	14～21日	適切な治療を開始する前と開始後数日間	発熱、咳、ときに発疹、呼吸困難（重症時）	症状が消失し元気であること
手足口病	3～5日	急性期の数日間	軽い発熱1～3日間 手足口に水を持った発疹	高熱や重症の口内炎がなく 普段の生活ができること
伝染性赤斑 (りんご病)	17～18日	発症前の数日間	顔面に赤斑、特に頬部の赤斑性発疹	元気がよいこと
嘔吐下痢症 (ロタ・ノロ・アデノウイルスなど)	症状のある間と症状消失後1週間 (量は、消失していくが数週間はウイルスを排泄しているので注意が必要)		発熱、下痢、嘔吐、酸味の強い白色の水様便	嘔吐から24時間経過し、主な症状が消滅してから
RSウイルス感染症	2～8日	呼吸症状のある間	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難	呼吸器症状が消失し全身症状が良いこと
ヒトメタニューモウイルス	4～6日	4日～2週間	咳、熱、鼻水、呼吸困難	咳などの症状がなく全身状態が良いこと
突発性発疹	約10日	発熱時	高熱、3日後に全身に発疹	主治医が登園に差し支えないと認めた時
ヘルパンギーナ	2～5日	発病後数週	発熱、咽頭・口蓋に水疱、喉の痛み	主治医が登園に差し支えないと認めた時
伝染性膿痂疹 (とびひ)	2～10日	水疱消滅まで	顔や手足に米粒大の発赤・水疱→浸出液から皮膚にうつる	他人への感染の恐れがないと医師が認めた時
ヘルペス性菌肉口内炎	2～14日	よだれから感染	口内炎症	症状が改善し元気であること
伝染性軟属腫 (水いぼ)	14～50日	浸出、接触、タオルの共有など	球状のいぼ 数個～数十個集簇	浸出液が出ている時は被覆していること
頭ジラミ	10～14日	発症から駆除開始数日間	頭皮に虫体・卵	駆除を開始していること